

第1学年 学級活動(2)学習指導案

指導者 T1 教諭 長田 ちひろ
T2 栄養教諭 森川 のどか

1 日 時 平成29年10月31日(火曜日) 第5校時

2 学 年 第1学年 計20名(男子9名 女子11名)

3 題 材 名 「しょくじのマナーめいじんになろう！」

4 題材について

○題材観

本題材は、小学校学習指導要領特別活動の学級活動(2)事項キ「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」を受けて構成したものである。食事のマナーには、食事をする人同士が気持ちよく過ごす心配りや、食べ物を作ってくれた人達に感謝の気持ちを伝える役割がある。また、食事の仕方を見ればその人となりが分かると言われるくらい、食事のマナーは重要である。本来、食事のマナーは生活の基盤である家庭でしっかりと身に付けていくものであるが、ライフスタイルが多様化している今日では、学校教育における食事のマナーの充実が求められている。本校でも、学校評価に「よい食事マナーで給食を食べる児童を全児童の80%にする」を設定し、基本的な食事のマナーが定着するような取組を進めている。そこで、本題材では、自分達の食事のマナーをふり返り、食事のマナーとは何か、どうして食事のマナーを守らなければならないかを考える活動を通して、これから自分達の生活において食事のマナーを守ろうという意欲をもたせることをねらいとする。

○児童観

本学級の児童は、給食の時間を楽しみにしている。【9月アンケート実施より 楽しみにしている→18人(90%) 楽しみにしていない→2人(10%)】

食事マナー定着の取組として、6月の参観日に「おはしめいじんになろう」という授業を実施し、はしの持ち方を学習後、家庭でも練習し、正しくはしを持って食べるための取組を進めている。また、給食時間には、よい姿勢で食べようという声掛けと、よい姿勢のポイントを示したポスターを掲示して意識付けを行っている。しかし、1学期の食事マナーに関する担任の見取り調査の結果は、以下ようになった。

<質問事項>	<できている児童の割合>
はしを正しく持って食べている	9人(45%)
食器を持って食べている	9人(45%)
背筋が伸びている	10人(50%)

以上のように、基本的な食事マナーの定着があまり進んでいない実態がある。

○指導観

指導に当たっては、最初にはしの正しい持ち方を再確認し、引き続きはしを正しく持って食べようとする意欲を高めたい。また、「しょくじのマナーめいじん」になるための食事マナーには何があるのか、間違い探しや実際に体験してみることで食事のマナーを理解させたい。授業のまとめでは、食事のマナーを守ることがなぜ必要なのかについて学習を振り返らせ、これから実践する食事のマナーを自己決定させたい。さらに、学習した内容を保護者に伝え、家庭でも実践することで、食事のマナーを十分に身に付けさせたい。

○題材の評価基準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
○食事のマナーについて話し合い、どうして食事のマナーを守らなければならないか考えようとしている。	○みんなで気持ちよく食事をするためには、食事のマナーを守ることが大切だと判断し、これから実践したい食事のマナーを自己決定している。	/

5 食育の視点

○食事のマナーを身に付けることができる【社会性】

○食事のマナーを守ることは、相手を思いやり、楽しい食事につながる事が分かる【社会性】

6 本時の指導

(1) 目標

○みんなで気持ちよく食事をするためには、食事のマナーを守ることが大切だと理解することができる。

○食事のマナーを守ろうという意欲をもち、これから実践したい食事のマナーを自己決定できる。

(2) 準備物

●正しいはしの持ち方の写真 ●間違った食事のマナーの絵 ●給食の写真 ●ワークシート

(3) 本時の展開

	学習活動・内容	○指導上の留意点		評価 (評価方法)
		T 1 学級担任	T 2 栄養教諭	
導 入	1 「おはしめいじん」の授業を振り返る。 2 めあてをつかむ。	○「おはしめいじん」に近づいていることを知らせ、はしの持ち方以外の自分達の食べ方を振り返らせる。	○「おはしめいじん」の授業を思い出させるため、はしの持ち方を再確認する。 ○はし以外にも気をつけないといけないことを「食事のマナー」ということを知らせる。	
しょくじのマナーめいじんになろう！				
展	3 食事のマナーの間違い探しをする。	○食事のマナーにはどんな物があるのか、また食事のマナーを守らないとどうなる		

開	<p>4 実際によい食事のマナーを実践してみる。</p>	<p>のか、間違っただ食事のマナーの絵を使って、考え発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立ち歩いている ・背筋が曲がっている ・ひじをついている ・足が床についていない ・食器を持っていない ・おしゃべりをする ・食器の位置 <p>○食事のマナーを守ることが大切だと実感させるために、よい食事マナーを体験させる。</p>	<p>○子供達から出たマナーの間違いを直す理由に、補足説明をする。 (食事のマナーを守る理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほこりがたたない ・消化に良い ・美しく食べられる ・音がたたない ・物をこぼさない ・口の中の物が飛ばない ・食器の位置の確認 <p>○食事のマナーを守って食べると『みんなもじぶんも気持ちよく食べられる』ことを伝える。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 食事のマナーについて話し合い、どうして食事のマナーを守らなければならないか考えようとしている。(観察・発表)</p>
まとめ	<p>5 学習を振り返る。</p>	<p>○今日の学習で分かったことや、これから頑張りたいことを発表させる。</p>	<p>○食事のマナーをどうして守らなければいけないのか考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行儀が悪い ・きちんと食べられない ・みんなで楽しく食べられない 	<p>【思考・判断・実践】 みんなで気持ちよく食事をするためには、食事のマナーを守ることが大切だと判断し、これから実践したい食事のマナーを自己決定している。(発表・ワークシート)</p>

(4) 板書計画

<p>しょくじのマナーめいじんになろう！</p>			
<p>正しいはしの持ち方の写真</p>	<p>間違っただ食事マナーの絵</p>	<p>食事のマナーを守る理由</p>	<p>給食写真 (正しい食器の位置の確認)</p>
<p>みんなもじぶんもきもちよくたべられる。</p> <p>分かったことや頑張りたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ _____ ・ _____ 			